



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく！」
～経営を極めていく企業家集団 会勢730名を達成しよう～

2018年 賀詞交歓会 開催!!

日時：1月23日(火) 17:00 会場：ホテルニュー長崎



今年も賀詞交歓会が盛大に開催されました。五島支部の勝本さんによるスローガン唱和ののち松尾慶一代表理事から年頭のあいさつが行われました。いつも増して力強い発声でおめでたい新年の始まりを感じました。

里見晋長崎県副知事、秋野公造参議院議員、八江利春長崎県議会議長よりご来賓挨拶を受けました。今年も県議の方15名を含めてご来賓の方48名と多数のご出席をいただきました。同友会の社会的認知度の高まりを感じます。

鏡開きが行われ、田上富久長崎市長、宅島壽雄長崎県商工会連合会会長、河野茂長崎大学学長、遠藤理史NHK長崎放送局局長、松尾慶一長崎県中小企業家同友会代表理事が威勢よく樽を開けました。「鏡」の意

味する円満と「開く」の意味する末広がりに今年の長崎同友会の活躍を重ね合わせて考えました。経営の学びの場である同友会をより知ってもらい会員が増え、長崎県の経済活性化に繋がることを期待してやみません。

田上長崎市長の乾杯のご発声により、楽しい懇親会の始まりです。今年の祝演はちんどんかわち家による祝い餅つきでした。盛大な(?)手拍子・掛け声に合わせて賑やかにお餅がつきあがり、あんこ・きなこのお餅が振る舞われました。酔いもほどよくまわり、宴もたけなわ中、第49回中小企業問題全国研究集会in長崎の成功に向けたPRがあり、松尾慶一実行委員長、中村こずえ副実行委員長、横田耕詞副実行委員長、金井政春来期代表理事内定者が登壇されました。



目次

2018年賀詞交歓会 開催報告	1	佐世保支部 第5回 ビジカルランチ 開催報告	14
2018年賀詞交歓会 ご来賓一覧	2	会員活躍	15
各界からの提言	4	事務局企業訪問	16
1月例会報告	5	入会・復会会員紹介	17
中同協 第3回 幹事会 参加報告	11	理事会議事録 抜粋	18
中同協 第2回 経営労働委員会 参加報告	13	会員消息・会員数	19
ダイバーシティ委員会 1月勉強会 開催報告	14	3月例会案内	20



中締めは辻村栄蔵副代表理事により行われ、三本締めと最後に右肩をちょっと上げて今年の景気の右肩上がり期待して賀詞交歓会が終わりました。

(文責 財務委員長 石橋 文)



2018年 賀詞交歓会 ご来賓の皆様



(順不同)

長崎県 副知事	里見 晋 様	日本政策金融公庫 佐世保支店 総括課長	遠藤 恭司 様
参議院議員	秋野 公造 様	商工組合中央金庫 佐世保支店 支店長	高畑 和憲 様
衆議院議員 西岡秀子事務所 秘書	高瀬 千義 様	十八銀行 取締役 常務執行役	松本 隆行 様
衆議院議員 加藤寛治事務所 秘書	詫間 英介 様	親和銀行 執行役員長崎営業部長	石丸 高 様
衆議院議員 谷川弥一事務所 秘書	南 雄次 様	長崎大学 学長	河野 茂 様
衆議院議員 北村誠吾事務所 秘書	松永龍太郎 様	長崎大学 産学官連携戦略本部 本部長	松田 浩 様
衆議院議員 富岡勉事務所 事務長	伊藤 順一 様	長崎外国語大学 学長	石川 昭仁 様
参議院議員 金子原二郎事務所 顧問	前田 哲也 様	活水女子大学 学長	湯口 隆司 様
参議院議員 古賀友一郎事務所 秘書	藤本 晃生 様	長崎純心大学 キャリアセンター事務室長	小森奈緒子 様
長崎市 市長	田上 富久 様	NHK 長崎放送局 局長	遠藤 理史 様
長崎県 産業労働部 産業政策課 課長	大庭 茂雄 様	NBC 長崎放送 常務取締役	藤井 潤 様
長崎市 商工部長	片岡 研之 様	KTN テレビ長崎 常務取締役	豊福健一郎 様
長崎県商工会連合会 会長	宅島 壽雄 様	NCC 長崎文化放送 部長	山本 栄治 様
長崎県中小企業団体中央会 専務理事	江口 道信 様	(株)長崎新聞社 常務取締役	徳永 英彦 様
長崎県信用保証協会 常勤監事	小柳 立身 様	朝日新聞社 長崎総局長	河野 武士 様
日本政策金融公庫 長崎支店 国民生活事業 副事業統轄	乃村 克利 様	D-FLAG チーフ・インキュベーション マネージャー	宮本 美砂 様
日本政策金融公庫 長崎支店 中小企業事業統轄	神庭 義明 様	大村市産業支援センター オービズ センター長	若杉 誠司 様

●長崎県議会議員の皆様（政党、選挙区）

（順不同）

長崎県議会議員 自由民主党 諫早市	八江 利春 様	自由民主党 西彼杵郡	山口 経正 様
自由民主党 西彼杵郡 三好徳明事務所 秘書	寺田 亨 様	自由民主党 島原市	大場 博文 様
自由民主党 佐世保市・北松浦郡	溝口美美雄 様	自由民主党 長崎市	前田 哲也 様
自由民主党 長崎市	高比良 元 様	改革 21 長崎市	渡辺 敏勝 様
自由民主党 長崎市	浅田眞澄美 様	改革 21 長崎市	吉村 正寿 様
自由民主党 南島原市	中島 浩介 様	公明党 長崎市	川崎 祥司 様
自由民主党 諫早市	大久保潔重 様	公明党 長崎市	麻生 隆 様
自由民主党 佐世保市・北松浦郡 吉村洋後援会事務所 事務局長	鳴澤 礼次 様		

ご臨席 誠にありがとうございました。

長崎新聞 1月25日

新春賀詞交歓会で
会員増の目標示す

県中小企業家同友会

県中小企業家同友会の新春賀詞交歓会が23日、長崎市大黒町のホテルニュー長崎であった。松尾慶一代表理事は組織活性化のために会員数を現在の670人から730人に増やす目標を示し、「同友会の良さをさらに広げていこう」と呼び掛けた。

県内8支部の会員ら約160人が出席。来賓の里見晋副知事は「中小企業の振興は重要課題。大学生や高校生の県内就職率を上げる

ため、学生と企業との接点を増やし、県内企業の良さを伝えていきたい」とあいさつ。鏡開きの後、田上富久長崎市長の発声で乾杯して会の発展を祈った。

（山里悠太郎）



会の発展を願う乾杯をする出席者
＝長崎市、ホテルニュー長崎

会員中小企業家に向けての提言

～成長戦略分野等への重点的な資金供給～

日本政策金融公庫長崎支店長 鶴丸 真介



プロフィール

昭和 34 年 2 月 5 日生まれ。長崎県川棚町出身。長崎大学経済学部卒業。昭和 56 年 4 月国民金融公庫（現日本政策金融公庫）入庫。平成 21 年 4 月浜田支店長、平成 23 年 4 月久留米支店長、平成 26 年 4 月より現職。

長崎県中小企業家同友会におかれましては、日頃から「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」という 3 つの目的・理念の達成のため、自主・民主・連帯の精神のもと、地域の発展・振興のために尽力しておられることに心から敬意を表します。私ども日本政策金融公庫は、本年 10 月に統合 10 年を迎えます。これを契機に各支店で記念イベントを行うとともに、国民生活・農林水産・中小企業の 3 事業が一体となり、これまで以上に地域経済の発展のため、役職員一丸となって融資業務に全力を尽くす所存でございます。

さて、我が国の経済状況ですが、実質 GDP が 7 期連続でプラスになるなど緩やかな回復基調にあります。加えて、再来年に迫った東京オリンピックと新元号施行に伴う準備が本格化することになり、さらなる景気回復へ向けた下地が整う年になることが期待されます。しかしながら、人口減少や人手不足といった課題があり、中小・小規模事業者の皆さまが景気の回復を実感するまでには至ってないようです。一方、長崎の状況は、県庁舎完成や長崎新幹線開通に備えた長崎駅周辺の再開発、V・ファールン長崎の J 1 初昇格、「長崎と天草地方の潜

伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録が見込まれるなど、「人の流れが大きく変わる」「人が県内外から集まる」経済効果が見込まれる出来事が目白押しです。こうした状況の中で、ビジネスチャンスを見つけ出し、タイムリーに手を打てるかどうか成否の分岐点と考えています。

私ども日本政策金融公庫では、国の政策に基づき、「創業・新事業への支援」「事業再生等への支援」「ソーシャルビジネス支援」「海外展開支援」「農林水産業の新たな展開への支援」「地球環境問題への支援」「教育の機会均等への貢献」など成長戦略分野への重点的な資金供給を積極的に行っております。私どもの融資制度を皆さまのビジネスチャンスにご活用いただくことで、地域経済の活性化に繋がっていきたくと考えています。

これからも長崎県中小企業家同友会の会員の皆さまと様々な場面でお会いし、お互いを理解し、長崎をさらに元気にするという同じ目的の下で一緒に歩んでいきたいと願っています。結びになりますが、皆さまの経営が今後ますます発展されることを心より祈念いたします。今後ともよろしくごお願い申し上げます。

長崎浦上支部 例会報告

日 時	1月16日(火) 18:30～21:00
会 場	長崎新聞文化ホール・アストピア
テ ー マ	創業50年 3代目の覚悟 ～事業承継して思う事、これからの課題と夢～
報 告 者	(有)吉川商事 代表取締役 吉川 裕也 会員



今回は、創業50年という歴史ある会社を承継された吉川さんの報告でした。先代社長の息子であったにも関わらず入社はアルバイトからということで、びっくりしました。

それでも、ご自身の努力により、1年後には正社員となられ営業職に就かれました。ただなかなか自社の強みなどうまく話すことができず、営業職へ悩みを感じていたころ、同友会に入会。一番のきっかけは、同世代ですでに活躍されていた同じ支部の山口善也さんの堂々とした話し方。「自分も人前であるように話したい」と思ったそうです。ただ入会するも、先行きの不安もあり、なんと県外に脱走されたそうです。しか



しその中でも、知人を訪ねられて、そこで説教を受け数日後、社長であるお父さまから連絡があり、「明日のお客さまとの打ち合わせはどうすつ」と言われ、「自分が行きます!」と返事をして帰郷。すぐに復帰することができたようです。この辺が、親子ならではの絶妙なタイミングだったように感じました。お父さまが息子さんの性格を十分踏まえられて、自然な流れから事業承継ができたのではないのでしょうか。とはいえ、会社の経営は大変だったようです。「明日、会社はつぶれるかもしれない」と社長から言われて、そこから必死に経営の勉強。その中で、会社の現状を数字で把握され売上、利益共に回復。また社長就任から2年で、経営理念も作成されています。社員には、「あたり前の事を積み重ねる大切さ」を伝えられているそうです。社員共育の基本は、あたり前のことを、あたり前にできているかどうかのカギなのかもしれません。今後の課題は、人材確保と社員共育と明確でした。今後のご発展が楽しみです。

(文責 岩 素子)

長崎出島支部 例会報告

日 時	1月24日(水) 18:00～21:30
会 場	サンプリエール
テ ー マ	人生はルーズベルトゲーム ～人生の勝ち負けは最後まで分からない～
報 告 者	(有)マイティー・スパロウ 相談役 城尾 忠明 会員

今回の報告は、会歴の長いダイヤモンドクラブの城尾さんのお話がどうしても聞きたく、お願いしました。最初は農園のことを中心に報告していただこうと考えていたのですが、城尾さんの今までの人生のお話を聞いていると、「これは、すごい報告内容かもしれない…」とワクワクしてきました。と、言っても報告の内容はかなりアンダーグラウンドなもので、想像を超えた世界でした。若い頃は長髪だった城尾さん。どこか楽しい事、面白いことを追い求め、たどり着いた世



界感。世の中に認められたり、そうではなかったり…を繰り返し、次第に現在の長崎は城尾さんの影響が大きい事を気づかせてくれました。

もし私が、城尾さんと同じ年代、同じころ長崎にいたとすれば、間違いなく城尾さんのお店に通いつめていたと思います。マニュアルというものもなく、とに



かくやりたい事、楽しい事を追い求めていた時代。そんな時代からマニュアル通りの時代へ。そしてまた多様な考え方が尊重される現代。30年程の人生の中に時代が反映されています。私達はここから何を学ぶ事ができるか？私是一つ答えができました。とにかく楽しみながら自分のやりたい事をやればいいのかという事ではないかと。10年後、20年後には城尾さんのように笑いながら話ができれば、それが人生の勝者ではないかと思いました。



懇親会では新春餅つき大会を開催しました。餅つきをしたことがない私でしたが、経験豊富な先輩方と長崎出島支部ならではのチームワークで、楽しく、美味しく縁起のいいお餅をいただく事ができました。

(文責 菅原 千代枝)

大村支部 例会報告

日 時	1月18日(木) 18:30～21:00
会 場	パークベルズ大村
内 容	慶祝例会



毎年恒例の1月慶祝例会！今回はパークベルズ大村にて開催しました。これに先立ち、早朝より富松神社にて、還暦（益田支部長）お祝い、厄入り（上松さん、野中さん）、厄払い（円田さん、中山徹さん、濱村さん）の祈願、大塚アドバイザーをはじめ数名の会員にご参列いただき、無事お払いをいただいてまいりました。

そして夜の慶祝例会！益田支部長の新年挨拶に始まり、入会された村山さんのバッチ贈呈、新年早々大村支部会員の中で一番幸福な橋口さんの御長男誕生のお祝いに続き、金井アドバイザー乾杯御発声の後、盛大な宴が始まり楽しいお酒が酌み交わされました。

その後、毎年恒例の大村支部会員全員による抱負の



発表！委員会別に登壇し、1年の抱負を籠めた色紙を片手に、昨年の反省から今年の抱負や目標を面白可笑しく、時には真面目に熱く熱く語っていただきました。会員同士の思いを共有できた貴重な楽しい時間はあっという間に終了、年明け最初の慶祝例会は今後の会の活動の活性化、仲間同士の親睦に繋がったと思います。

最後は徳田アドバイザーに万歳三唱で締めさせていただき、この1年の素晴らしいスタートが切れました。

(文責 浦郷 学)

諫早支部 例会報告

日 時	1月17日(水) 18:30～21:00
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	人の役に立つ人間になる ～まちづくりをボランティアからビジネス化する～
報 告 者	九州教具(株) 代表取締役社長 船橋 修一 氏



船橋氏は、以前には同友会の会員でもあり、義理のおじいさんが1946年に創業された会社の三代目であられます。「誠実にして正確を旨とし社会に貢献すべし」という社是を掲げ現在でも多方面でご活躍をされています。

1990年前半のバブル崩壊とともに「経済の時代」は終わり、多様な価値観の「文化の時代」へとパラダイムシフトが起きました。その観点から利益最優先の経済主義ではなく、文化の時代に応じた社内風土を生み出すべく将来を見据え、見据えた将来を実現する為に、今どんな選択をすべきなのかを社員に説いてきたそうです。そうした先見の明と売上を半分に落とす位ぶっとんだアイデアを募り「仕事なんて所詮遊びだ!」という達観した考え方で大胆な施策に取り組みをされたとの事です。

非常に話し上手で面白可笑しく興味深い話をしてい



ただいたのですが中でも、会社と社員とのあり方・関係性について、「圧力」によるトップダウンではなく「社員からの意見」を取り入れ業務を改善していくボトムアップ型の重要性や、実際に外国人新入社員の「ホテルの清掃業務が高齢女性には重労働すぎる」という意見から、留学している学生等をアルバイトとして雇用し、清掃作業をしてもらい社員の負担を軽減するというアイデアを生み出しシステム化したという事例の話には、「自社では中々意見がでてこないのにすごい」「社員の意見を柔軟に吸い上げて実現してしまう、ふところの広さ・度量の大きさがすごい」等といった意見が多く、非常に自身のあり方を考えさせられる報告でした。

(文責 嶋崎 雄樹)

島原支部 例会報告

日 時	1月26日(金) 19:00～21:00
会 場	ホテル南風楼
テ ー マ	2018年の南島原市を考える
報 告 者	南島原市 市長 松本 政博 氏

私たち島原支部は島原半島の3市 島原市・雲仙市・南島原市の中小企業の経営者が集っている支部でございます。その中で最も多いのが南島原市であります。その長にお越しいただき、現状・今後の方向性また市長の思いを語っていただきました。



まず今の南島原市の置かれている状況、行われている施策の紹介をしていただきました。



- ・人口推移、人口動態・人口減少、高齢化等の対策、戦略
- ・島原半島の道路事情の改善への取り組み
- ・観光事業－長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産・九州オルレ・イルカウォッチング、雲仙普賢岳災害記念館、民泊
- ・産業（農業、水産業、手延素麺等）の振興、ブランド化の取り組み
- ・I o T・I T企業の誘致、普及の取り組み
- ・市独自の助成金の紹介

最後に南島原市作成の観光P Rショートフィルム【夢】を見せていただきました。

この8分ぐらいのフィルムには、故郷－南島原の名所や何気ない生活空間をきれいに素晴らしく撮影されていることにも感動するのですが、それ以上に幸せとは何なのか・生きるとは何なのかを問う、力強いメッセージを込めた感慨深い作品になっておりました。コマーシャル的なP R作品というより、あらゆる人共通の人生を幸せに生きるという課題を題材にしたこの作品に触れ、私たちが地方といわれるこの地で生きてい



る中で、何気ない生活の中に、人々のつながりの中に、家庭の中に、夫婦の中に幸せはたくさんあるもので、幸せは与えられるものでも探すものでなく、感じるものなのだと改めて思いださせてもらえるよくできた作品だと感じました。みなさん是非見ていただきたい！
<https://www.youtube.com/watch?v=w3TYq0Xo8ok>

今回の例会で感じたことは、地方都市だからこその行政との距離の近さゆえの、所謂連携が市も前向きに考えていただけている事に多くの可能性を感じました。また私たちはこの地で事業を営み、日々いろいろな問題に直面しながら、家族、社員、社員の家族、地域の方々、取引先の方々、行政の方々と一歩ずつ歩んでいるわけですが、このつながりの積み重ねの中に多くの幸せがあり、歴史が刻まれていくもので、この幸せを次の世代に伝えていくことの大切さを感じました。

最後にみなさん、家族に『愛してる』と伝えてますか？南島原市P Rショートフィルム見てみてください。

（文責 河原 邦昌）

佐世保支部 例会報告

日 時	1月17日(水) 18:00～21:00
会 場	魚魚の宿
内 容	慶祝例会

1月の例会は佐世保支部毎年恒例の慶祝例会として行いました。

慶祝例会の開始はまず、古希、還暦、厄入りの対象者へのご祈祷から始まります。今回の対象者は古希4名、還暦4名、厄入り9名の計17名に対しご祈祷を行い、ご祈祷の後は新年祝賀会を行いました。

祝賀会では祝賀会を盛り上げようと魚魚の宿小松屋会員のバンド演奏や、ブルゾンちえみや、ピコ太郎等に仮装した会員による様々な余興があり、また、慶祝例会の日の午前中には佐世保支部新年ゴルフコンペが開催され、その表彰式をしたりと、大変盛り上がりしました。



慶祝例会は佐世保支部で唯一の経営報告が無い例会です。ハメを外す所では外し、真面目にする所は真面目にする、このような事が佐世保支部の今の雰囲気や勢いの良いところだと思いますし、経営者にとってもとても大事な事だと思います。そのことを慶祝例会に参加し強く感じました。



また、今回は厄入りの方が多く同友会佐世保支部が若い世代が中心となって活動している事も感じまし



た。今年も佐世保支部は活発に活動していきます。

(文責 府川 正樹)

北松浦支部 例会報告

日 時	1月17日(水) 18:30～20:30
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	創業から8年の歩み ～仕組み作りと組織作りへの挑戦～
報 告 者	(一社)西日本福祉会 理事長 宮田 京子 会員



宮田さんは、山口県の大学院を卒業後、フグの養殖業を営むお父様の病気をきっかけに事業を引き継ぎ経営者となりました。経営を引き継いだ後も、借金返済やお母様の病気など決して平坦な道のりではなく、非常に険しい道のりを歩んでこられました。

そうした中、経営者をやめて仕事を探そうとしていたところ、知人からのアドバイスを受け、猛勉強の結果、福祉事業に転身。(株)西海福祉の森を立ち上げ、現在は福祉の森グループの代表を務めています。

創業当初は、ビジネスモデルが何もなくあったため仕組みを宮田さん自ら作り出し、その時起こったトラブルに対応するので精一杯でした。しかし、優秀な社員の方々が続々と入社し、次第に仕組みが整備され福祉事業のビジネスモデルを確立することができていきました。

また、宮田さんは毎年、漢字1文字で一年の目標



を定め、2014年「攻」、2015年「夢」、2016年「和」、2017年「実」と定めてきました。

昨年2017年「実」の具体的な取り組みとして働き方改革に取り組み、完全週休二日制、ノー残業デーの導入、振り返りシートの導入、専門委員会の設置等の労務環境の整備を実施しました。その結果、長崎県が実施するNピカで星4を獲得します。

2018年は「拓」と定め、売上3億円を見込み、朝の清掃活動も実施しています。

<感想>

仕組み作りとして、経営理念、経営方針、行動基準、社是等を細かく定め、ひとつひとつの言葉を丁寧に報告されているのを拝見して、宮田さんが社員の方を大切にされている気持ちが非常に伝わってきました。

事業をお父様から引き継いで非常に厳しい道を歩まれ、人生のどん底を経験された宮田さんだからこそ、人に対する感謝、人を大切にする言葉に説得力があるのだと思いました。

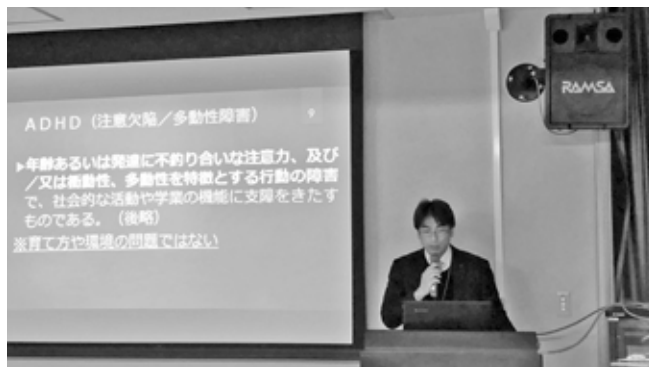
(文責 吉田 大)

五島支部 例会報告

日 時	1月17日(水) 18:30～21:00
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	グローバルは一人から ～特別支援は特別じゃない～
報 告 者	長崎県立鶴南特別支援学校 五島分校 高等部主事 岩永 広喜 氏 進路指導主事 出口 正治 氏 下五島障害者就業・生活支援センター 就業支援担当員 畑井 光次 氏 (株)ダイキョーブラザ福江店 店長 高細 圭一 氏



今月の例会はいつもと形式を変えて、来るべき労働力人口不足時代において目を向けていかなければならない障がい者の労働力のリアルを知るために、現在、特別支援学校や障がい者就業支援で通常の学校生活や就職に問題を抱えている生徒や障がい者の指導をされている方々を招き、実際にどのような状況なのかをご報告いただきました。特別支援学校高等部主事の方々からは、障がい者と健常者の違いがあくまでもグレーゾーンで判断が難しいということや、IQは高いが自閉症（アスペルガー症候群）や周りとの協調性がうまくとれない生徒などがいるということをお話いただきました。また就業支援をされてる方からは、転職が



多い求職者が後から自身が障がい者であったことを気づく場合もあることも伺いました。また、実際に雇用されている方からは、時間をかけて指導していけば健常者より信頼のおける仕事をしてくれるという例も聞きました。

ディスカッションでは自社の社員やスタッフのことで思い悩んでいるという方もいましたが、健常者を雇用して悩む、障がい者を雇用して悩む、どちらが大変なのかはグレーゾーンかもしれませんね。

社会にはいろんな方がいて、様々なケースがあり、それぞれの対応の仕方も違うので一概には言えないのですが、本当の意味での周囲の理解があれば、かなりの部分は解決し、会社にとって十分な戦力になりえる可能性を感じる報告を聞くことができました。

(文責 設楽 誠)

青年経営者会 例会報告

日 時	1月30日(火) 19:00～21:00
会 場	minato
テ ー マ	これまで、そしてこれから ～青年経営者会会長を経験して～
報 告 者	Smart 代表者 橋本 裕次郎 会員(長崎浦上支部)

現在、青年経営者会会長の2期目を務められており、「これまで、そしてこれから～青年経営者会会長を経験して～」というテーマでした。同友会に入会されてから初めての報告という事で、緊張した面持ちで報告が始まりましたが、持ち前のバイタリティでスムーズ



に報告されました。

会社を立ち上げるまでの経緯や現在の状況、そして



将来の展望などを赤裸々に報告されました。会社を立ち上げるまでには容易ではない状況下であり、現在に至るまでには相当の苦労があったという橋本さんは、同友会に出会ったことで状況が一変されました。例会への参加やたくさんの会員との出会いによって仕事に対する姿勢、考え方、組織づくりなどを学び、自社の成長へ役立てていったそうです。その甲斐があり業績

も伸びてきて今に至りますが、最近ではこの学びを社員にもどうにか伝えることができないか、共有することができないかと思ひ、経営理念と経営指針を作成されたそうです。まだまだ社内に浸透はされていないという事でしたが、今後に繋がればと考えておられるという事でした。また、これまで自分自身が様々な人たちに支えられてきたので、今度は恩返しをしたいと力強く話されていたことが印象深かったです。

同友会活動を精力的に行い、学びを実践されている橋本さんのこれからのますますのご活躍が期待される大変有意義な例会であり、青年経営者会会員にとっても、普段見ることができない橋本さんの姿を垣間見ることができて大変刺激的だったのではないのでしょうか。

例会終了後の懇親会でも会員同士の話が尽きることなく、盛況のうちに終了しました。

(文責 吉川 裕也)

中同協 第3回 幹事会 参加報告

開催日：1月12・13日(金・土) 会場：中野サンプラザ

代表理事 松尾 慶一

今回の幹事会の次が3月9日で10年間欠かさず出席した幹事会もとうとう残り少なくなって来ました。さて、今回は会長が変わって初めての幹事会でしたので少々、雰囲気も進行の仕方も変わりました。中同協第50回総会議案書の審議と5万名達成へ向けてのグループディスカッションが活発に？行われました。第12テーブルの皆さんは次の方々でした。

- 1) 長野 早川 事務局長 (会勢 709名)
- 2) 岩手 田村 代表理事 (会勢 396名)
 - ・出来ない理由、会費値上げ、真面目な会合だけでは???
 - ・国が発表して来た、ソサエティ5.0の認識をしなければならぬ。
- 3) 沖縄 比嘉 相談役 (会勢 1,173名)
 - ・60ビジョン 役員が一人で一人 出来たか検証する年数回の達成会。
 - ・昨年30周年で会費を上げたが影響はなかった。
- 4) 石川 柴 事務局長 (会勢 417名)
 - ・新幹線の開通から4年、盛況感が有る
- 5) 岡山 藤井代表理事 (会勢 535名)
 - ・役員会でみんなで仲間づくりをしようと呼びかけて来て一人が一人達成しようと試み、6支部の役員会



に正副代表理事が張り付く。

- 6) 香川 榎原 副代表理事 (会勢 1,599名)
 - ・仲間づくり推進本部 実行部隊でなく戦術を5名で考える組織。11月は各支部でフェスティバル。成果37名。窓口を広く引き込んでいく
- 7) 茨城 小浦 事務局長
 - (正局員2名 パート2名 会勢 310名)
 - ・高速道の近頃は仕事有る 県南と県北の温度差が大きい。東京オリンピックの効果が見えてきたが、建設業は人手が足りない。
- 8) 長崎 松尾 (会勢 671名)
 - ・仲間づくりの手順に習い着実に純増。支部役員会での携帯電話の再確認。
- 9) 大分 塚崎 代表理事 (会勢 561名)

・6年前に総会に向けて増強をやった結果、古参の会員の退会が出て慌てた。

<グループ発表>

1. 人を生かす経営を実践している所は強い。新入会員には思いやりを。
2. 青年部から本会に入る県は強い。そして、結果的に役員の若返り。会員の中で一人親方が多いが…兵庫はNO。5万名にしてどうしたいのか？中同協の10年ビジョンが必要か？
3. 企業づくり、地域づくりが肝心
4. 外国人労働者を正規雇用として取組む。共同求人活動に行き詰まり感。新卒にこだわり過ぎでは。同友会の採用型インターンシップの提案。増強と膨張は違う。新入会員に語り部が魂を入れる必要が有る。
5. 求人・社員研修・指針の成文化等、議案書に事務局との関わりを。

◎幹事長から、伝え方が正しく認識されているか、連携、若い人の活用等。

◎次に、事務局よりなぜ今、事務局の労働実態調査を行ったのか？

集計の結果と報告がなされて、次の様に説明がなされました。

1. 人を生かす経営の実践のために、労働環境の改善
2. 同友会へ社会的期待が高まっているから労基法に違反は出来ない。

3. 事務局の業務の高度化が求められ、高度化を図るために改善が必要。

4. 同友会運動の発展の為。継続発展の為には魅力ある職場をつくる。

◎また、懇親会にて、初めて他団体をお呼びし、壇上にて挨拶をいただいた。経済同友会・中小企業団体中央会・商工会連合会、意義のある懇親会。

◎ロゴマークの決選投票を行い、最終的には正副会長会議にゆだねる。

◎第50回定時総会 宮城では、5万名拡大へのキックオフ大会とする。

◎青年経営者交流会 in 茨城についての報告が有りましたが、驚きました。室長は全国へ出て報告者の企業訪問やシュミレーション実施したそうですが、結果、当日会場に於いて、初めましてと言う挨拶は一つもなかった

◎兵庫全研からのPRでしたが、気合が入っていました。5万円を使って来ていただき、来年には何十倍になって帰ってくる。と成果を出すには分科会の内容をいかに高めるか？集めるだけではなく、グループ長研修も大切。

という様に意義深い幹事会でした。懇親会では九州・沖縄ブロックが集い二次会へと流れましたが、話題は同友会の事ばかり。翌日のブロック会議でも活発な意見交換をして参りました。

副代表理事 金井 政春

新春の東京の活気、それから全国の同友会幹事の方の熱意と活力を求めて幹事会に参加して来ました。参加者は幹事111名、事務局54名、役員、幹事、顧問17名の計182名でした。16のグループに分けられた中、私は12グループでしたが、テーブルに12名は少し狭く、机の上は交換した名刺と多くの資料で活気溢れる？状態で5時間もの会議に少々心細さを感じました。

主な議題は①7月の第50回定時総会に向けた次年度重点方針の提案と検討 ②会員増強の為の意見交換と経験交流 ③事務局労働実態調査集計結果報告 ④「各地の災害等への中同協の対応についての考え方」 ⑤全国行事のまとめ、準備状況 ⑥「2019年度国の政策に対する中小企業家の要望・提言」 ⑦中同協設立50周年ロゴマークの募集結果及び選考等 について議論を深めました。

佐世保支部会員から提出されたロゴマークが最終選考に残っていました。勿論私は1票を投じましたが結果は3月の幹事会で発表されるとの事でした。

2018年度活動方針の要点として①仲間づくりの

輪を広げ会勢5万名実現の運動を進めよう ②経営指針と10年ビジョンを位置づけ全社で将来のありたい姿を共有しよう ③人材確保の困難が継続しており、労使見解に基づき魅力ある企業づくりを進めよう ④後継者の育成と事業承継は大きな課題であり、後継者を育成する取り組みを組織的に進めよう ⑤「中小企業家エネルギー宣言」の先見性に確信を持ち、エネルギーシフトの学習と実践に取り組もう ⑥中小企業憲章と中小企業振興基本条例の制定運動により多くの自治体で条例制定を実現しよう 以上6項目が確認されました。

その後、各地域の情勢と同友会運動についてのテーマでグループ討議が開催されました。各地域共通して人口減少、人材不足、若者の県外流失、若者の企業定着率の低下、後継者不足が挙げられました。全国的に同友会として学校関係者との連携を強化し、中小企業に理解を深めてもらい地元企業への就職に繋げる取り組みが盛んに行われているようで、長崎同友会もより積極的に取り組む必要性を感じました。

幹事会翌日の九州・沖縄ブロック代表者会議では共通の課題として2019年全国会員数5万名達成に向けた取り組み強化が強く確認されました。その中で、

長崎同友会は過去最高の会員数で新年を迎えました。長崎同友会の会員増強の取り組みは全国でも注目をされています。また、他県にもまして積極的に活動していることを確認できました。

この勢いを継続し会員企業の発展、地域の発展に貢献できる同友会づくりに微力ながら頑張る覚悟を新たにしています。

事務局次長 峰 圭太

中同協第3回幹事会に参加させていただきました。

1日目は中同協設立50周年記念事業の件や第50回総会の議案骨子についての議論、事務局労働実態調査の確認の後、中小企業庁次長の吉野氏から講演をいただきました。

議案に関するグループディスカッションで各地の事例を共有する中で、青年部と女性部会の活躍や期待という声が多くありました。また新支部の設立等で50,000名の達成を確認しました。

またやはり全国的に人材不足は喫緊の継続課題であることから、同友会型のインターンシップの再構築、外国人採用に向けての方向性など議案への提案内容も生じました。まとめとしては、再度人を生かす経営の実践を行うことがベースとなり企業、組織を強化し地

域企業を増やすことの重要性を確認しました。

吉野次長の講演では、中小企業・小規模企業者政策についてボリュームある内容をいただきました。各種制度や補助金などの情報はe.doyu掲示板に掲載していますのでぜひご活用くださいますようお願いいたします。

2日目、各種議題の審議等があり新春幹事会は閉会となりましたが、引き続き九州・沖縄ブロック代表者会議、中同協財務委員会（松尾代表の代理出席）に参加させていただきました。それぞれの会議で今後の活動の確認を行い、あらためて中小企業を取り巻く環境には多々課題があり、その課題解決に向けて正面から向き合っていると感じました。2019年全研開催が決定している長崎同友会。一人でも多くの会員の方が今よりもさらに強靱な企業となるよう同友会と自分の立ち位置を見つめ直す機会になりました。

中同協 第2回 経営労働委員会 参加報告

開催日時：1月24日(水) 13:00、1月25日(木) 12:00 会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

第1部 報告・協議・審議事項

- 2017年経営労働問題全国交流会（京都）、及び2019年経営労働問題全国交流会について
⇒京都同友会より報告、承認
2019年は岩手同友会が立候補、承認
- 2018年中同協総会議案（骨子）の経営労働委員会関連部分の報告
⇒事務局より報告、確認
- 中同協第50回定時総会（宮城）の企画概要と関連部会について
⇒事務局より報告
- 中同協と労働組合との懇談・講師派遣等の状況について
⇒事務局より報告
- 第18回人を生かす経営推進協議会の報告、第6回人を生かす経営全国交流会（宮崎）企画案について
⇒事務局より報告
- 『働く環境指針づくりの手引き』第2次案について
⇒3月末までに試案として発表
各地同友会で試験運用をお願いする

9月末の次回委員会で報告、最終版の完成とする

第2部 経営指針成文化・実践運動の発展を目指して

⇒東京同友会の報告があった

労使見解の理解の取組みが弱いとの指摘があり、グループ討議でも大きな問題提起となった。今後長崎でも強化していく

第3部

- 学習と意見交換『働き方改革』と中小企業

⇒中央大学 松丸教授より講演があった。

今後、各地同友会でも検討していく

- 「2019年度国の政策に対する中小企業家の要望・提案」案について協議

⇒事務局より報告、政府の「働き方改革」の考えを、就業規則のガイドライン検討プロジェクトにてまとめしていく

- 「企業変革支援プログラム」活用・普及の取組み及び改訂について

⇒全国一の香川同友会より報告

経営指針に10年ビジョンが追加された

今後更なる普及をめざし改訂を検討していく

<報告>

長崎での経営指針についての活動が活発になり、
やっと同じ土俵で話せるようになりました。

しかし、改めて感じたのは労使見解を大事に考えて
いる同友会が多いことに気がきました。

更に、企業変革支援プログラムの推進を強化し、経

営指針の進捗チェック機能を向上させることが必要と
感じました。

最後に、九州から長崎、熊本の2同友会しか参加し
ていなかったことが残念でした。

(文責 経営労働委員長 宇土 敏郎)

ダイバーシティ委員会 1 月勉強会 開催報告

開催日時：1 月 29 日(月) 19:00～20:15 会場：MINATOスペース

テーマ：外国人雇用について学ぼう ～留学生との交流を深めながら～

報告者：リーガルナビ行政書士事務所 代表行政書士 李 泳勲 会員(長崎出島支部)



長崎出島支部の李さんに、主に外国人雇用をする際
の手続き上の注意点について講義していただきました。

李さんは、行政書士として、外国人の在留資格(一
般に就労ビザといわれている)の許可の取得のための
書類を作成し、入国管理局に申請する業務を多数手掛
けてきました。その経験をもとに、外国人雇用を考え
ている経営者が知っておいた方が良い知識について、
わかりやすく説明していただきました。また、李さん
は普段から外国人留学生とも交流があり、彼らの声も
聞いているようで、それによると、長崎県内の留学生
の多くは学校卒業後には長崎県内で就職したいと思っ
ているそうです。しかしながら、現実には長崎県内で
受け入れる企業が少なく、仕方なく県外に就職先を求



めているのが現状だそうで、
出席者の皆さんもその事実に
は驚いていました。

ダイバーシティ委員会の活
動として、外国人雇用をテー

マにしたのは今回が初めてであり、出席者が集まるか
不安だったのですが、各支部の会員の方々にご参加い
ただき、皆さん熱心に李さんの説明に耳を傾けていま
した。

また、今回はゲストとして、李さんのお知り合いの
ベトナム人留学生の女性、ウェンさんに来ていただき、
10分程度インタビュー形式でお話をしていただきました。
彼女も卒業後は日本で就職したいと語っていました。

報告終了後も出席者から多くの質問があり、盛り
上がった勉強会となりました。参加者の間からも、
「李さんの説明が非常にわかりやすく、第1回の勉
強会として非常に良かった」といった意見が出ていま
しました。

勉強会終了後の懇親会には、李さんとウェンさん
にも参加していただき、勉強会の中で話せなかったこと
等を参加者のみんなで聞きながら交流を深めました。

(文責 北川 亮)

佐世保支部 第 5 回 ビジカルランチ 開催報告

開催日時：2 月 1 日(木) 11:30～13:00 会場：ハーベストキッチン

報告者：(株)地域総合研究所 朝永 憲法 会員

夜の例会に参加できない会員さんにも役立つよう
に、また、会員以外のゲストの方も、お気軽にご参加
いただけますよう、ランチの時間帯に気軽な交流会と

する事を目的とし、『第5回佐世保ビジカルランチ』
をハーベストキッチンにて開催いたしました。

参加者はゲスト2名・会員18名、合計20名で

した。

11時30分から12時までを講話。12時から13時までをランチをしながらの交流会とし、13時に終了。

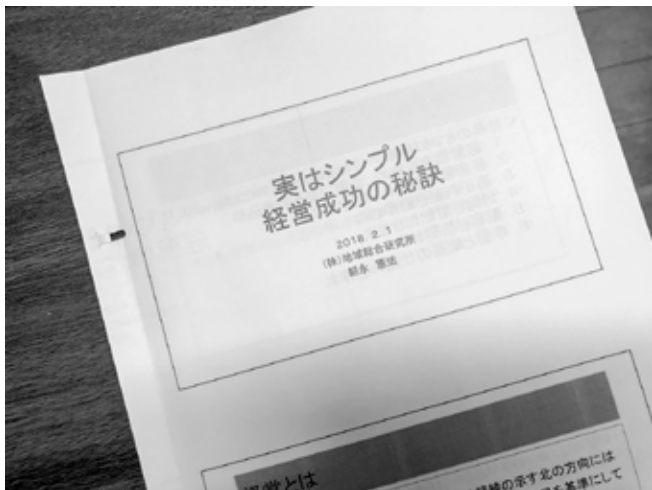
今回の講話は、朝永憲法さん。((株)地域総合研究所 代表取締役)。テーマは【実はシンプル！経営成功の秘訣】でした。

参加者からは、『成功の秘訣がなんたるか、とても解り易く講話をいただいたので為になった』との嬉しいお声をいただきました。ゲストで参加していただいた方より、「今後も同友会で学ばせていただきたい」と、その場で入会申込みがあったのが大変嬉しかったです。

また今回も鶴野さん(つるの整骨院 院長)による5分間の健康ワンポイントアドバイスの時間を設けていただきました。むち打ちの話から始まり、パソコン作業を行う際の疲れない姿勢についてのアドバイスでした。

今後も月1回開催する予定です。このビジュアルランチが、会員やゲストの方の交流の場となり、支部活動の活性化に繋がりますように願っております。

(文責 村上 敦子)



会員活躍

長崎新聞 1月18日

佐世保支部 山脇 慎太郎 会員

を理念に掲げ、最近では波佐見焼ファン向けの女子旅を開くなど、町の魅力を発信しています。観光バス事業は行政や学校関係が中心で、昨年の夏は地元の波佐見高野球部員を甲子園まで送



「社業について。九州を中心に、大手旅行会社では難しい細かなニーズに対応したツアーを企画しています。『地域と共に歩み、共に生きる』

波佐見の魅力 旅で提案



新栄取締役

山脇 慎太郎さん(34)

り届けました。課題や展望は。いかにして長崎に、波佐見に観光客を呼び込むかを考えています。この春には福岡市にゲストハウスを開き、本県の情報発信や、波佐見に関連したイベントを展開する予定です。2年後の春に町内で旅館を開業する準備も進めています。波佐見は焼きものだけでなく、人も魅力的。この場所だからこそ味わえない、人と触れ合えるような旅を提案し、家族全員が楽しめる「総合観光都市」を目指し、町を盛り上げていきたいです。(熊本陽平)

株式会社新栄(東彼波佐見町田ノ頭郷) 1977年創業。中古車自動車販売からスタートし、現在は旅行業と観光バス事業も展開。従業員14人。観光バスは10台保有。

広告募集

<4cm×9cm>

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

V・ファーレン長崎



V-FALCONS
NAGASAKI

応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員(長崎出島支部)

事務局企業訪問

今回は長崎浦上支部 大坪孝聡さん（大坪総合法律事務所）にお話をお伺いしました。



＜大坪総合法律事務所＞

大坪総合法律事務所は2016年12月に開業、弁護士・社会保険労務士業務として特に企業法務・交通事故・成年後見等に携わられています。

【独立するまで】

大坪さんは長崎市で生まれ育ち、高校生の時に弁護士を志望、高校卒業後に県外の大学に進学しました。弁護士を志望した理由は、高校生の時に成績が良くなかったため普通の勉強では追いつくことができないけれど、法律なら大学に入って勉強が始まるので、皆スタートが一緒だったこと。そして難関である司法試験にチャレンジをしてみたかったということでした。また、客観的に考えるという性格が弁護士に合っていると、実際に弁護士になってからも感じているそうです。それは客観的な視点から物事を判断することで依頼者にとって最も利益となるアドバイスができるからということでした。

そして大学院を卒業後、司法試験に現役で合格。司法修習生として1年を過ごした後に、佐賀の法律事務所に就職しました。長崎ではなく佐賀の弁護士事務所に就職したのは、いずれ長崎で独立したいという気持ちがあったため、他県の状況を知ることで見聞を広く持ち、今後のキャリアに生かすことができるのではないかと考えたからです。

佐賀の法律事務所で3年勤めたのちに、長崎に戻り開業します。

佐賀で勤めていた時から、企業から労務関係の相談が多かったため、社会保険労務士の登録も行いました。そうすることで弁護士と社会保険労務士の業務の境界の仕事、場合によってはどちらも見合わせてしまうような案件にも対応できるようになるため、依頼者の利益に繋がると考えてのことでした。

【同友会に入会して】

開業後なんらかの異業種の団体に参加しようと思っていたところ、同友会のホームページを見て、自身も自営業者として一緒に研磨できる環境があると感じ、同友会へ入会しました。

普段は経営者として会社の有り方を突き詰めて考える機会がなく、考えるにしても何を基準にして考えれ



ばいいか分からなかったそうですが、同友会に入会していろんな方の考えを聞くことができ、ヒントをもらうことができたそうです。また、よりよい職場環境についても考えることができるようになったそうです。そして毎月継続して例会があるので、継続して学ぶことができ、モチベーションを保つことができるため、非常に良い環境だと感じているそうです。

【今後の展望として】

弁護士は敷居が高いと思われているところもあるので、「大坪総合法律事務所」は気軽に相談ができる事務所として認知してもらい、困りごとがあれば気軽に相談を寄せてもらえる体制を作っていきたいと語りました。「なんとなく相談に来た方でも来てよかったと言ってもらえています。ご相談いただいた内容について少なからずのアドバイスができると思いますので、気軽にお越しください。」と大坪さんからメッセージをいただきました。

また、内部体制の強化として増員を検討されているそうです。余裕をもって仕事に取り組むことで、急な案件にも対応できるようにし、困っている依頼者の助けになればということでした。

【企業訪問を通して】

企業訪問の冒頭に岩川町（JR浦上駅近く）に事務所を構えられた理由をお聞きしたのですが、裁判所近くに事務所を構えると、長崎市北部の方のアクセスが悪くなるので、北部の方も相談に来やすいように、JR・路面電車・バスなど交通の便も良いところだと依頼者の利便性を第一に考えた結果、岩川町に事務所を構えることを決めたそうです。

事務所の場所以外でも、様々なお話しを通して常に依頼者のためになることを念頭に考えて行動する大坪さんの経営姿勢を知ることができ、大坪さんの「依頼者の『権利実現』と『利益追求』に応える」という言葉が非常に印象に残りました。

今回はお忙しいなか取材にご対応いただきありがとうございます。これから大坪さんの活躍を祈念いたします。

＜会社概要＞

大坪総合法律事務所

住所：〒852-8106

長崎県長崎市岩川町 12-11 辻丸ビル2F

TEL：095-801-2225 FAX：095-801-2226

HP：<http://ohtsubo-law.net/>

（文責 田口 友廣）

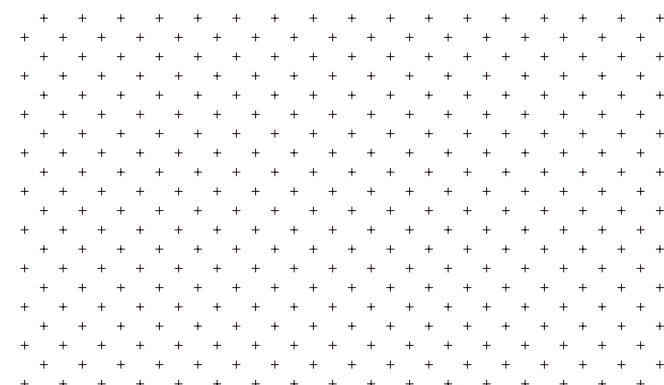
新入会員の皆さんです < 1月入会・復会 >

(敬称略)

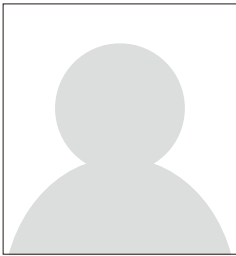
< 入 会 >

支 部 名	長崎浦上支部	
氏 名	うちだ しんご 内田 信吾	
企 業 名	(株)インテックス	
役 職 名	代表取締役社長	
企 業 住 所	〒850-0046 長崎市幸町6-3	
T E L	095-826-2200 F A X 095-826-2201	
業 種	総合印刷業	
企 業 PR	パンフレット・チラシ・ホームページ・SNS・CI・ブランディング等の企画・デザイン等、販売促進に関する業務で地域に貢献していきます。	
スポンサー	松尾 慶一	

支 部 名	諫早支部	
氏 名	たうら けんご 田浦 健吾	
企 業 名	(株)タウラボ	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒859-0406 諫早市多良見町木床1561 ユニメント喜々津A201号	
T E L	0957-46-3410 F A X	
業 種	Webサイト・ネットショップ制作、運用サポート	
企 業 PR	長崎県を中心に九州の官公庁、中小企業、50件以上のWeb運用経験を有しております。お気軽にお問い合わせください。お客様のネットショップ月商8倍を達成！	
スポンサー	山口 大輔	



支 部 名	島原支部	
氏 名	なかお じゅんや 中尾 純也	
企 業 名	司法書士 中尾事務所	
役 職 名	所長	
企 業 住 所	〒855-0045 島原市上の町925 YNビル3F	
T E L	0957-63-0055 F A X 0957-63-0056	
業 種	司法書士	
企 業 PR	<取扱案件> ・不動産に関する登記手続・相談 ・会社・法人に関する登記手続・相談 ・相続に関する登記手続・相談	
スポンサー	敷島 広太	

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	そうだ けんた 早田 健太	
企 業 名	Room	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒859-6101 佐世保市江迎町長坂138-1	
T E L	0956-66-2645 F A X 0956-66-8848	
業 種	看板製作・デザイン	
スポンサー	綿川 淳子	

< 復会 (交代を伴う) >

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	ふくだ ゆうだい 福田 裕大	
企 業 名	(株)オートピア	
役 職 名	営業	
企 業 住 所	〒859-3722 東彼杵郡波佐見町岳辺田郷 1255-2	
T E L	0956-85-4301 F A X 0956-85-6975	
業 種	自動車販売・整備	
企 業 PR	車のことなら、なんでもお任せ下さい。	
スポンサー	松尾 慶一	

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数／約 500 字

●画像／歓迎します

□掲載／情報広報委員会にて選考

□投稿先／情報広報委員または同友会事務局まで

□メール／jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月 10 日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月 15 日～20 日に行います。支部指定も出来ます。

A 4 チラシ 1 枚 5 円です。**A 3 チラシは 2 枚分**となります。ご利用お待ちしております。

2月理事会 議事録 抜粋

2月1日(木) 19:00～21:00

つくば倶楽部 出席19名 欠席4名

開会挨拶－松尾代表理事

1月の理事会後に行事が立て込み、あっという間に2月理事会となりました。1月12、13日は中同協の幹事会に金井副代表と峰次長と3人で参加しました。以前は一人で参加し、会員目標達成数を発表する際には、とても苦痛でした。しかし長崎に戻ってきたらそんな顔は長崎の会員の皆さんに見せられないので、皆さんと仲間づくりに取り組んできました。おかげさまで、そうした経験から打たれ強くなったようで、鍛えられたと思っています。理事の方も鍛えられていることと思いますので、期末まで職務を全うしていただきたいと思います。残り2ヶ月、4月には総会があります。お願いはただひとつ、支部長の皆さんが立てた仲間づくりの目標を年度内に達成してください。よろしくをお願いします。

仲間づくりについて

1)入会・復会・企業変更・退会・取下の承認について－

5名の入会、2名の復会、1名の企業変更、4名の退会、2名の取り下げを承認

総括－

(西山委員長欠席のため、松尾代表理事より)

仲間づくりの日が2月14日にあります。各支部仕込みができていますので楽しみです。もしお困りごとがあればお電話ください。2月14日の夜には各支部が目標達成を祝していることと思います。ぜひ皆さんで祝杯を挙げたいと思いますのでよろしくお願いします。

協議・承認事項

1)2018年度に向けて

○来期活動方針案について－事前配信

→新委員長、支部長活動方針確認

→新委員長、支部長活動方針案を承認、総会へ上程。2月22日が議案書締切、各支部総務委員会で取りまとめて事務局へ提出することを確認

○予算に関して

(三役会案)

次回理事会に提案

→上記を確認

○第47回定時総会に関して

(前回までの決定事項)

4月19日(木)13:30～、諫早観光ホテル道具屋。参加費は総会のみは無料、懇親会参加の方は5,000円、記念講演は鹿児島同友会の上塘代表に依頼

(今回提案分)

司会、スローガン唱和者、議長などの配役については三役一任とする。

→承認

○事務局員採用について

(三役会案)

正局員として森川健吾さんを推薦

→松尾代表理事、金井副代表理事、西村専務より面接時の報告

→森川健吾さんを正局員として採用することを承認。2月2日付で採用とする。2月5日以降、各支部の役員会・例会と県委員会に参加予定

○来期活動予定について

→支部役員会・例会、各委員会開催予定日の確認。理事会は現状通り原則毎月第1木曜とする

→支部役員会・県委員会で来期の予定を確認いただき、変更がある場合は早めに事務局まで連絡いただくことを依頼

2)第49回中小企業問題全国研究集会について

(前回までの決定事項および検討事項)

開催日を2019年2月21・22日(木・金)、メイン会場をホテルニュー長崎

(今回提案分)

1月30日の実行委員会を受けて報告

(報告と意見として)

・(横田副実行委員長)兵庫全研に参加したことを長崎に持ち帰り生かしましょう。参加できない人にもどういった様子だったのか伝え、モチベーションを上げていきましょう。

・(金井副代表理事)県の行事としては、会場が分散しバスで移動というのは今までなかった感じになると思います。前倒しで準備を進めていく必要があると感じています。

・シールができました。各支部に1000枚配布しています。名刺に貼るなどして全研でアピールしてください。横断幕もインパクトがあるものができています。(※シールを貼った名刺は外部の皆様にお渡しください)

3)2018年賀詞交歓会の振り返り

(総じて)

今回の意見を参考に来期の賀詞交歓会開催について、三役で協議し理事会で提案

4)企業変革支援プログラムの活用について

(理事会決議事項)

10月を理事、11月を支部役員、12月を一般会員の登録推奨月間とする(今回確認)

今後支部役員の登録を推奨する

→上記を確認

報告・連絡事項

1)1月 県本部・各委員会・各支部等の活動状況について

【青年経営者会】

(理事会当日の報告)

・(橋本会長)1月例会で報告をしましたが、質疑応答できついことを言われへこみました。しかし厳しい意見をいただけること、これが同友会の良さかと思いました。同友会、また、青経に入って良かったと思いました。

・(安井次期会長)来期は青経を各支部に作らせていただきたいと考えています。来期末までに会員数100名が目標です。3月21日は32回目のハタあげ大会を開催します。そこではしっかり青経を対外的にアピールしたいと思います。

【情報広報委員長】

(理事会当日の報告)

支部例会の開催日が月末に多く開催されるようになり、広報誌の締め切りに間に合わない事が多くなり発送数が増加傾向にあります。担当者には事前に連絡し早めに原稿提出いただけるようお願いいたします。広報誌が早く刷り上がることで、例会で手渡しでき、郵送費のコストダウンにもつながります。また、委員会では原稿の提出法広報をWEB上でできないかなど検討しています。

【ビジョン委員長】

(理事会当日の報告)

1月31日に委員会を開催。来期は第4次ビジョンの検証と第5次ビジョンの作成と大事な年となります。各支部ビジョン委員を2名以上選任し、委員会開催の際は各支部より必ず参加をお願いします。第5次ビジョンは2018年12月までに完成させ、2019年の定時総会において発表します。また第5次ビジョンは時代の流れが早いことを考慮して3年ビジョンとすることを提案します。

→各支部ビジョン委員を2名以上選任することを承認

【ダイバーシティ委員長】

(理事会当日の報告)

1月29日に2回目の勉強会を開催。外国人雇用について学びました。興味のある方に多く参加いただき、留学生の実体験や会員からは実際の雇用の状況について聞くことができ、次回は例会につなげていくことができればと思いました。

2)例会について(更なる例会の充実をめざして)－

(山口委員長欠席のため、田口事務局員より)

・1月例会の出欠状況と2月例会について各支部にヒアリング

・出席率の目標達成のために例会委員長だけでなく、役員会で役員一丸となって、具体的にどうするか協議をお願いします

・返信率に関しては達成可能な目標ですので各支部取り組みをお願いします

3)中同協 主要行事の紹介

理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう！

(申し合わせ事項)(敬称略)

12月7・8日(木・金)	共同求人・社員教育活動全国交流会／島根 佐世保－橋口
2月8・9日(木・金)	第48回 中小企業問題全国研究集会／兵庫／キャラバン開始 現在47名(40名目標)

5月24・25日(木・金)	中同協役員研修会兼九州・沖縄ブロック支部長交流会／熊本
6月21・22日(木・金)	第21回 女性経営者全国交流会／埼玉
7月5・6日(木・金)	第50回 中同協定総会／宮城
9月13・14日(木・金)	第6回 人を生かす経営全国交流会／宮崎
11月29・30日(木・金)	第46回 青年経営者全国交流会／沖縄
2月21・22日(木・金)	第49回 中小企業問題全国研究集会／長崎

4) 1月12・13日(金・土)中同協第3回幹事会参加報告(松尾代表、金井副代表、峰事務局次長)
(松尾代表理事)会長が変わって2回目の幹事会ですが会議の在り方や進行方法も変わってきています。人が変わると組織も変わることを感じました。そのなかで外部からも出席をいただくなど雰囲気も変わってきています。

(金井副代表理事)グループディスカッションではどこも人材不足で学生は流出、定着が悪いという意見が共通していました。懇親会では兵庫同友会の田中代表理事より、「皆さん景気はいいですか」という質問があり、その後「今年儲けなかったら、来年からはもっと厳しくなる。今は東京オリンピック開催を控え、消費税も増税前で良い状況です。」と続けました。そこで、これから厳しくなることに対して、今のうちに準備をしなければという危機感が生まれました。次の日の九州・沖縄ブロック代表者会議では、長崎は頑張っている・元気があると名指しで言われました。

(峰事務局次長)中同協がもうすぐ創立50周年ですが、全国で5万名の会勢を目指しています。全国的事例として、青年と女性の活躍が目立っています。青年と女性の会員拡大をし、次の世代を作ろうという動きが全国にあります。また九州・沖縄ブロックでは1万名の会勢を目標としています。

5) 1月13日(土)九州・沖縄ブロック代表者会議参加報告(松尾代表、金井副代表、峰事務局次長)
上記、中同協第3回幹事会参加報告で併せて報告

6) 1月13日(土)中同協財務委員会参加報告(峰事務局次長)
会費は課税仕入れになりませんという報告がありました。課税仕入れに関しては詳細が分かりましたら改めて報告します。

7) 1月18日(木)長崎県内留学生と企業との交流会参加報告(田口事務局員)
留学生がインターンシップを行っての、報告があり留学生からは、語学力の向上や日本における社会人のマナーなどを身に付ける必要があると感じたようです。その後、留学生と県内企業の方との意見交換会がありました。その中で出た意見としては、留学生の課題は語学力とあったが皆さん非常に優秀だということ。留学生は長崎での就職を希望しているにも関わらず、なかなか就職が難しいということ。そこには企業側の情報発信が不足しているのではないかと意見がありました。人手不足と言われるなかで長崎県内には非常に優秀な留学生がおり、県内での就職をしているにも関わらずなかなか実現しないということもありますので、ぜひどういった留学生が長崎にいるのかということを知っていただきたいと感じた意見交換会でした。

8) 1月24・25日(木・金)中同協経営労働委員会参加報告(宇土委員長)
現在、委員会では就業規則の見直しについて取り組んでいます。書籍も発

行の予定ですが、経営指針成分化と実践の手引きの副読本のような扱いになります。長崎同友会でも経営労働委員会に対して、就業規則の作成や見直し、財務の勉強等いろんな要望が出ておりますが、この就業規則の書籍の利用を考えています。書籍に関してはのちほどe.doyu掲示板にアップいたします。東京同友会の事例報告がありましたが、テクニックに走り労使見解が抜けているのではないかと指摘がありました。また働き方改革に対して、どういうところから取り組みばよいのかということと社会保険労務士にお願いをして勉強会を検討しています。また副業を認めるという動きが世の中にはありますが、これに対しては同友会としておかしいのではないかと考え、今後意見が出される予定となっています。企業変革支援プログラムは発表から10年経ちました。中同協では改訂の動きがあり、3月の幹事会で提案の予定です。

9) 1月26日(金)女性活躍推進企業等表彰式参加報告：(株)西海福祉の森(田口事務局員)
冒頭に表彰式があり、長崎大学、AIG、そして北松浦支部 宮田京子会員の(株)西海福祉の森が表彰されました。表彰は女性の登用や能力開発等に積極的に取り組み、女性が職場でいきいきと活躍している企業を対象としています。宮田さんが表彰の際に働きやすい環境を作り、社員満足が高まれば、お客さんにも良いサービスが提供できると思って取り組んできたという言葉が印象的でした。また、後半にはカルビー CEOの松本氏の講演があり、ダイバーシティ戦略について話されました。ここでは主に女性の登用についてで、ここで感じたことは1月の諫早支部例会で九州教員の船橋さんの報告との共通点でした。お2人とも1990年前後に時代が変わったということ指摘、松本氏はベルリンの壁崩壊後にグローバル化が加速度的に進んだこと、船橋氏はバブル経済崩壊後に経済優先の時代から多様な価値観を重視する文化の時代に移行したことを指摘。国が推進しているからだとか、人手不足だからということではなく、多様性を持った時代において、生き残るためにダイバーシティ経営に必要と感じ取り組んでいることを感じました。

10) 長崎大学との取り組みについて(1月30日伊東副学長と面談：中村支部長、峰事務局次長)
(中村支部長)1月23日賀詞交歓会の際に長崎大学の河野学長とこれまでの同友会の大学との連携をお話ししたところ、長崎大学ともぜひという話になり、伊藤副学長を紹介いただきました。伊藤副学長にはどういったところと連携をすることができるのかと相談をしています。

11) 3ヵ月会費滞納者についてーなし

12) その他
・(中村支部長)先日神奈川同友会で報告をした際に、経営フォーラムで記念講演をしていただいた湯澤さんと3月の長崎浦上支部で報告予定の吉原さん((株)吉原精工)にお会いしました。吉原さんの会社は全社員残業ゼロ・年収600万円以上と本やテレビでも紹介されています。ぜひ3月は長崎浦上支部の例会参加してください。

※次回日程－3月理事会 3月1日(木)つくば倶楽部(現新理事会)

会員動向

退会者(敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
石橋 陽子	Ponpurse(ボンパージュ)	大村	2015年3月入会
佐藤 洋平	(株)ARI-JAPAN	諫早	2017年3月入会
江口 和季	ニコット・サービス(有)	佐世保	2017年9月入会
立木 良宗	立木硝子総業	北松浦	2015年6月入会

会員数(2月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	135	115	100	90	75	145	55	35	750
期首	110	87	79	72	61	124	44	25	602
現在	113	102	81	75	63	155	44	31	664

企業住所等変更

天見 孝二 会員 (大村支部) 福田 龍太郎 会員 (佐世保支部)
改姓：(旧姓：永富) 新会社名：(株)FUKUDA 新役職：代表取締役

訃報



七種 勝 会員
(佐世保支部)
1月15日67歳の若さでお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り致します。



立木 良宗 会員
(北松浦支部)
1月19日48歳の若さでお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り致します。

3月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 3月13日(火) 18:30～21:00
会 場 長崎新聞文化ホール・アストピア
テ ー マ 町工場の全社員が年収600万円以上もらえる理由
報 告 者 (株)吉原精工 会長
吉原 博 氏(神奈川同友会)

NHK「クローズアップ現代+」、『おはよう日本』、「2016年度厚生労働省働き方改革パンフレット」でも紹介された、(株)吉原精工の会長のご報告です。もともとブラック企業だったという町工場が、どうやって全社員残業ゼロ、年収600万円を達成したのか。労働時間の削減に挑戦されたのは、ちょっとした出来事から。会長の本気の「社員を幸せにする」という想いが、思わぬ相乗効果を産み出していきます。社員のやる気を引き出す「働き方改革」の報告を聞かれて、ぜひ自社に活かされてください。

●長崎出島支部

日 時 3月22日(木) 18:00～21:30
会 場 サンプリエール
テ ー マ 彩りある福祉の共創
報 告 者 社会福祉法人 ながよ光彩会 理事 統括施設長
貞松 徹 会員

●大村支部

日 時 3月15日(木) 18:30～21:15
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ ー マ 未定
報 告 者 白山陶器(株) 代表取締役
松尾 慶一 会員(佐世保支部)

経営体験報告。

●諫早支部

日 時 3月20日(火) 18:30～21:00
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ 諫早のホームページ屋さんが伝えるウェブ最前線
～キーワードは「モノからコト」～
報 告 者 (株)タウラボ 代表取締役
田浦 健吾 会員

「モノ消費からコト消費の時代へ。」よく言われるこの言葉、実は中小企業の事業者ほど意識すべきかもしれません。東京のIT大手勤務を経て、諫早でウェブ制作業を立ち上げた田浦さんに、最新事例とユーモアたっぷりウェブと中小企業の「いま」を語っていただきます。

●島原支部

日 時 3月22日(木) 19:00～21:15
会 場 HOTELシーサイド島原
テ ー マ 我が社の働き方改革
報 告 者 GYARIRU 代表
北尾 新 会員

人口減少で雇用したくても人材不足…。育児や介護を理由とする離職の悩み…。社員が働きやすい職場環境を作るために現在悪戦苦闘中。人時生産性、企業イメージを高める有効な経営戦略を中心に私なりのこれまでの取り組みと、今後の展望をお話しさせていただきます。今年度最後の報告ですので、是非ともお誘い合わせの上、お越し下さいませ!!

●佐世保支部

日 時 3月16日(金) 18:30～21:00
会 場 アルカス佐世保 3F 大会議室
テ ー マ 波乱万丈～現在進行形
報 告 者 (有)思案橋観光 取締役社長
山口 憲男 会員(長崎出島支部)

栄光と挫折を繰り返した山口さんご自身の経営体験を振り返り、自分に足りなかったものは何かを分析し、今後の事業に対して同友会の学びをどう実践していくべきか報告いただきます。

●北松浦支部

日 時 3月22日(木) 18:30～20:30
会 場 松浦シティホテル
テ ー マ 技能実習生受け入れ制度とは?
報 告 者 トータルビジネス協同組合 代表理事
黒木 和朗 氏

近年外国人実習生受け入れ実績が125万人を突破し、日本経済になくてはならない制度となっている。今回、外国人実習生の受け入れ機関の一つであるトータルビジネス協同組合 代表理事 黒木和朗氏をお迎えし、技能実習受け入れ制度とは、受け入れまでの流れ、教育訓練の実施、受け入れ可能職種など、企業のメリットやデメリットなど、現実実習生の生の声を交えて報告いただきます。

●五島支部

日 時 3月24日(土) 18:30～21:00
会 場 福江総合福祉保健センター
テ ー マ 未定
報 告 者 未定

●青年経営者会

日 時 3月21日(水)
会 場 唐八景
内 容 春一番ハタ上げ大会

長崎全研

2019年は長崎にて中小企業問題全国研究集会が開催されます!!
2019年2月開催まで

あと **12** ヶ月!!